

ウィークエンドサロンコンサート #01  
Weekend Salon Concert



# 成田達輝 & 萩原麻未

〈ヴァイオリン〉

〈ピアノ〉

Tatsuki Narita, Violin

## デュオ

週末の午後

ロマンティックな雰囲気漂う  
室内楽専用ホールで  
上質な演奏にふれるコンサート  
夫婦デュオが奏でる  
愛に満ち溢れた心豊かなひと時



Mami Hagiwara, Piano

### プログラム

- 〈E.エルガー〉愛の挨拶
- 〈F.クライスラー〉愛の悲しみ、ドヴォルザークの主題によるスラヴ幻想曲
- 〈J.S.バッハ〉無伴奏ヴァイオリン・パルティータ第3番 ホ短調 BWV1006より「ロンド形式のガヴォット」
- 〈F.リスト〉愛の夢 第3番 ～ピアノソロ～ 〈E.ピーチ〉ロマンス Op.23
- 〈P.サラサーテ〉ツイゴイネルワイゼン
- 〈C.フランク〉ヴァイオリン・ソナタ イ長調 FWV8

©Marco Borggreve

©Akira Muto

2024年

11月30日(土)

開場13:30/開演14:00(終演予定15:30)  
アルカスSASEBO 中ホール

【全席指定】一般2,000円 ペア券3,500円

前売券取扱

アルカスSASEBO、チケットぴあ(Pコード272-403)  
ローソンチケット(Lコード81704)、イープラス(<https://eplus.jp>)

アルカスクラブ先行発売/8月24日(土)  
一般プレイガイド発売/8月31日(土)

※未就学児の入場はご遠慮ください。

※やむを得ず公演が中止または延期、曲目など内容に変更が生じる可能性があります。あらかじめご了承ください。

■主催・お問い合わせ:アルカスSASEBO(佐世保市、公益財団法人佐世保地域文化事業財団)

TEL0956-42-1111(第2・4水曜日休館) <https://www.arkas.or.jp>

NBC Classic



終演後、  
アフタートークを  
開催します

AfterTalk

私達は、アルカスSASEBOの文化事業への協賛を通して地域文化の振興を支援するオフィシャルパートナーです。

Japanet



Tatsuki Narita, Violin

ウィークエンドサロンコンサート #01  
Weekend Salon Concert

# 成田達輝 & 萩原麻未 デュオ

文化財としても貴重な教会が県内に点在している長崎県らしく、アルカスSASEBOの中ホールは教会をイメージして設計されています。天井にはステンドグラスが、そして壁には長崎県外海町のド・ロ神父考案の「ド・ロ壁」の石積み工法を模して造られたレンガが施されています。そんなロマンティックで独特な佇まいが魅力的な室内楽専用ホール“中ホール”で、週末の午後、上質な演奏に触れるコンサートシリーズがはじまります。第1回目は、ロン＝ティボー国際コンクール第2位、エリザベート王妃国際音楽コンクール第2位の成田達輝と、ジュネーヴ国際コンクールで日本人として初めて優勝した萩原麻未によるデュオの演奏をお楽しみいただきます。公私ともにパートナーであるお二人に、「愛」をテーマに選曲していただきました。お話を交えながら、お二人が大切にされている名曲の数々が、中ホールに響き渡ります。終演後には、アフタートークも開催！愛情に溢れ幸福に満ちた心温まる贅沢なひと時を、中ホールでお過ごしください。



Mami Hagiwara, Piano

皆さまこんにちは！実は長崎は私たちの大親友の出身地で、数年前に一度観光させてあげたいという思いで、長崎市で2人の演奏会をさせていたことがありますが、佐世保での演奏は今回が初めてで、演奏会の日を今から心待ちにしております。私たちが夫婦ということもあり、今回は愛をテーマにしたプログラムをご依頼いただき、私たちにしても思い入れのある作品を詰め込んでみました。前半は会場いっぴりに優しさと愛が広がるような小品集、後半はベルギーの作曲家のセザール・フランクが、20世紀を代表する大ヴァイオリニストのウジェーヌ・イザイの結婚式の為に書いた、壮大な人生絵巻のような作品です。当日は、皆さまと愛溢れる音楽に包まれるような時間を過ごせたらと思っています。会場が皆さまにお目にかかれまことを楽しみにしております！

成田 達輝 萩原 麻未

©Marco Borggreve

## 成田 達輝 (ヴァイオリン)

ロン＝ティボー国際コンクール(2010年)で第2位およびSASEM著作権協会賞受賞、エリザベート王妃国際音楽コンクール(2012年)にて第2位およびイザイ賞受賞。仙台国際音楽コンクール(2013年)で第2位受賞。その超絶技巧と詩情豊かな音楽性に「パガニーニの再来」とフランス紙で評された。著名指揮者および国内外のオーケストラと多数共演し高い評価を得るとともに、リサイタルやジャンルにこだわらない様々なアーティストとの室内楽においても圧倒的なテクニックと多彩な表現力を披露している。現代作曲家とのコラボレーションも積極的に行っており、2013年サントリー芸術財団サマーフェスティバルで演奏した酒井健治作曲ヴァイオリン協奏曲《G線上で》は芥川作曲賞を受賞、S.カンブルラン指揮/読売日本交響楽団と演奏した一柳慧作曲《ヴァイオリンと三味線のための協奏曲》(世界初演)の公演は2022年度芸術祭大賞を受賞した。2022年9月には坂本龍一のプライベート録音に参加し「ソナタ」等を演奏。作曲家・山根明季子、梅本佑利と現代音楽のアーティスト集団「mumyo」を設立している。海外での演奏活動も積極的に行っており、近年では、韓国平昌やミンスク、ギリシャ・イドラ島の音楽祭に参加したほか、2024年4月にはピアニスト福岡洵太朗と中央アジア4ヶ所を回るツアーを行った。使用楽器は、A.ストラディヴァリ黄金期の「Tartini」1711年製(宗次コレクションより貸与)。

## 萩原 麻未 (ピアノ)

2010年第65回ジュネーヴ国際コンクール(ピアノ部門)において、日本人として初めて優勝。年によって1位を出さないこの伝統あるコンクールでの8年ぶりの優勝となった。広島県出身。第27回バルマドロー国際コンクールにて史上最年少の13歳で第1位。広島音楽高等学校を卒業後、文化庁海外新進芸術家派遣員としてフランスに留学。パリ国立高等音楽院及び同音楽院修士課程、パリ地方音楽院室内楽科、モーツァルトウム音楽院を卒業。現在、日本、フランスを中心に、スイス、ドイツ、イタリア、ベネズエラ、ベトナムなどでソリスト、室内楽奏者として演奏活動を行っている。これまでに、国内主要オーケストラのほか、パスカル・ロフェ指揮/スイス・ロマン管、フランス国立ロワール管、フランソワ・グザヴィエ・ロト指揮/南西ドイツ放送響なども共演を重ねている。また、スイスのグシュタード・ニューイヤー・フェスティバル、ジュラ・フェスティバル、フランスのペリグー・ノワール・フェスティバル、ラ・ロック・ダンテロン、ラ・フォル・ジュルネ(ナント/日本)等の様々な音楽祭に招かれる。近年では広島市民賞のほか、第13回ホテルオークラ音楽賞、第22回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞、第22回出光音楽賞、文化庁長官表彰(国際芸術部門)、第46回東燃ゼネラル音楽賞(奨励賞)など多数受賞。メディアでは「題名のない音楽会」「ららクラシック」「クラシック倶楽部」「名曲アルバム」等のテレビ、ラジオ番組にも多数出演している。



託児サービス  
(有料)のご案内

1才以上の未就学児に対して託児のご予約を承ります。利用を希望する場合は、公演3日前までに申し込みが必要です。詳しくは佐世保ステーション保育園(TEL 0956-20-0900)にお尋ねください。申し込みが定員に達した場合は、お受けできない場合がございます。(お問い合わせ・受付時間 月～土曜日 10:00～20:00)

アルカスSASEBO

〒857-0863 長崎県佐世保市三浦町2-3  
TEL 0956-42-1111 FAX 0956-24-0051

